

突き抜けた「豊岡で暮らす価値」の創造



豊岡市長 中 貝 宗 治

年 あいさつ

あけましておめでとうございます。
豊岡が平穏無事でありますように。

「密」が価値を失い、「疎」が価値を回復するという動きが顕著になっていきます。豊岡市への移住相談件数は、昨年11月末現在で404件。対前年2・68倍に増えています。コロナ禍が後押しになっていると考えられます。しかし、人はすぐに忘れず。特效薬ができ、ワクチンができれば、「密」があつという間に価値を取り戻し、大都市への集中がさらに加速することは容易に想像できます。豊岡は忘れないでいようと思います。単なる「稼ぐ場所」ではなく、「より良く生きる場所」としての価値を高めることによって、「疎」の可能性を切り拓いていきたいと考えています。そのために、①コウノトリも住めるまちづくり、②コウノトリの物語を背景にしたコウノトリ育むお米の輸出、③インバウンドの推進、④深さをもった演劇のまちづくり、⑤ジェンダーギャップ(男女格差)の解消を推進力に、引き続き「小さな世界都市-Local & Global City-」の実現を目指していきます。

野外で暮らすコウノトリは、200羽を超え、繁殖地も全国7府県に広がりました。

コウノトリ育むお米は、6つの国と地域に輸出しています。昨年11月末現在で14・67トン、対前年41%の増となっています。

今、インバウンドは大幅に減少していますが、情報発信を続けています。昨年、豊岡が海外メ

ディアで取り上げられた件数は、11月末現在で355件、対前年76・6%の増となっています。コロナ終息後は、再び多くの観光客がお越しになるものと期待しています。

豊岡演劇祭は、延べ4730人の参加者がありました。アンケートによると、70%の方が市外からで、そのうち73%の方が宿泊を伴っておられました。平均宿泊日数は2・2日、経済波及効果は約7千5百万円でした。演劇ツーリズムの可能性が見えてきました。

4月には、県立の「芸術文化観光専門職大学」が開校します。推薦入試は4・9倍、総合型選抜入試は11・1倍の倍率でした。世界的ダンサーを含む優れた教員とともに、明確な目的意識を持った学生たちがやってきます。

豊岡が優れたアートの現場になります。演劇やダンスには関心がないという方も、演劇やダンスが豊岡にどのようなインパクトを与えるのか、大いに関心を持っていただければと思います。その上で、できれば、演劇やダンスを楽しんでいただければ幸いです。

ジェンダーギャップ解消の取組みは、自治体の先進事例として高い関心を呼んでいます。特に、地方創生Ⅱ人口減少対策という切実な問題と明確に関連付けた取組みは、豊岡以外には日本ではほとんど行われていません。

今年も市民一丸となつて、圧倒的に突き抜けた「豊岡で暮らす価値」の創造を続けてまいります。

新 年頭のご



豊岡市議会議長 嶋崎 宏之

感染防止力を高め誇れるまちづくりを！

あけましておめでとうございます。
市民の皆さまには、輝かしい新春の幕開けをご家族お揃いでお迎えになられたこと、心よりお喜び申し上げます。

本年が皆さまにとりまして、より穏やかで幸多き年になりますようお願いしております。

昨年は、地球規模で、百年に一度の未曾有の大災害に見舞われました。自然災害であれば、いくらか大規模でも必ず収まり、その時点から復旧・復興にかかれますが、今回のような新型コロナウイルス感染症は他に例がなく、収束の方向が見えません。一昨年の12月に発生した新型コロナウイルス感染症が、瞬く間に世界中に蔓延し、国内でも3月の卒業式が軒並み縮小、延期され、また、入学式に至ってはリモートでなされたりと、その他の公的・私的行事やイベントも全て中止あるいは延期となってしまいました。東京2020オリンピック・パラリンピックも1年延期されました。また、感染者の増加により緊急事態宣言の発令等、社会・経済活動が麻痺状態になってしまいました。感染爆発も現在では第3波が、1波、2波をさらにしのぐ勢いで猛威を奮っており、国内でもほぼ毎日、新規感染者が多数発生しています。

米国を始め、各国でワクチンの開発が進められており、治験の結果、95%の有効性が立証されているものもありますが、接種の導入には、もう少し、時間がかかるものと思われます。ウ

イズコロナの時代、新しい生活様式で感染対策をしっかりと行いながら、社会・経済活動を再起動し、1日も早い収束を願うばかりです。

そのような中、豊岡市では、昨年9月には、江原河畔劇場や城崎国際アートセンター等を中心に、豊岡演劇祭2020が、感染予防ガイドラインに添った形で開催され、好評価を得ました。11月1日には、悲願の北近畿豊岡自動車道が、但馬空港インターチェンジまで開通しました。また、今年の4月には、アイティの4階に生涯学習サロンがオープンし、県立の芸術文化観光専門職大学が開学されます。

「小さな世界都市」——小さくても世界で輝くまち・尊敬されるまちの実現を目指し、深みを持つ「演劇のまち豊岡」——若者が住みたいと思うまちづくりの推進等、さまざまな施策を着実に進めてまいります。

今年も地方創生の中心課題である少子化・人口減少対策にしっかりと取り組んでいかなければなりません。また、財政悪化の見通しからも公共施設再編問題を始め、行財政改革も図らなければなりません。

市民の皆さまのより一層のご支援とご協力をお願い申しあげ、新年のごあいさつといたします。

※掲載している情報は編集時点(12月16日)のものです。変更になっている場合がありますので、注意してください。